

奄美群島重要生態系地域調査の概要

1 背景・目的

鹿児島県は、平成15年9月、奄美群島の豊かな自然との共生を目指した地域づくりの指針として「奄美群島自然共生プラン」を策定した。

また、平成15年5月、環境省と林野庁の「世界自然遺産候補地に関する検討会」において、奄美群島を含む琉球諸島は、世界遺産条約に定める登録基準と完全性の条件を満たす可能性が高い地域として選定されたが、同時に「重要地域の一部はいまだ十分な保護担保措置がとられていない」との指摘もなされた。

このようなことから、奄美群島の希少野生生物の生息地など重要生態系地域の現状等を明らかにし、保護地域指定の検討に必要な情報の取りまとめ等を行うため「奄美群島重要生態系地域調査」を実施した。

2 事業主体 鹿児島県

3 調査期間 平成15年度～平成17年度(3ヶ年)

4 調査の内容

(1) 奄美群島の自然生態系の現況に関する調査

- ・ 亜熱帯性常緑広葉樹林，海岸植生の分布等
- ・ 世界遺産指標種の選定とその分布等
- ・ ウミガメ上陸地，海鳥繁殖地等
- ・ サンゴや干潟の分布等
- ・ 代表的景観，地形
- ・ 上記調査結果及び関連情報のGISデータ化

(2) 重要生態系地域の保全と活用に関する調査

- ・ 地域住民の自然環境保全に係る意識調査，ヒアリング
- ・ 土地利用状況及び計画等のGISデータ化 など

(3) 学術検討会（第1～7回）

奄美群島の自然の価値・評価や保全・再生を行う重要地域，学術的見地から見たゾーニングや保全方策等を検討すると共に，「現地有識者会議」や「関係行政機関会議」に対する学術的・専門的見地からの助言・提言

を得るため開催。

委員は生態や動植物など様々な専門分野の研究者等から選任 13名

(4) 重要生態系の保全に係る普及・啓発など

- ・ 奄美群島の自然に関する連続公開講座(第1～17回)

奄美群島の自然・文化の価値やこれらの保全・利用のあり方等について群島住民の普及・啓発を図るため開催。

- ・ 現地有識者会議(第1～5回 各島)

奄美群島の各島において、現地有識者からの意見等を得て重要生態系の保全・利用を検討するため開催。

(各島の研究者や様々な業種から選任 奄美大島地区：29名，喜界島地区：10名，徳之島地区：14名，沖永良部地区：10名，与論島地区：10名)

- ・ 地域住民ワークショップ(第1～4回 各島)

本調査の趣旨や進捗状況・調査結果，世界自然遺産登録も視野に入れた保護地域指定の必要性等について，地域住民に理解を深めてもらうため実施。

- ・ 普及啓発媒体の作成・配布

小中学生向け学習教材「生命あふれる島」を作成し，群島内小学校99校，中学校58校に配布。

(5) 奄美群島重要生態系地域調査会議(関係行政機関会議)(第1～4回)

調査に係る各行政機関との円滑な連絡・調整を図るため開催

委員：市町村長，環境省自然保護事務所長，九州森林管理局計画課長，大島支庁長，県環境生活部長等 18名